

豊かな自然源を生かした周辺整備で地域活性化も

新しいごみ処理施設の整備を進めています



岡高座清掃施設組合 ☎(238)2094

平成31年度の稼働を目指して

高座清掃施設組合は、海老名市・座間市・綾瀬市の3市が一般廃棄物を共同処理するため昭和38年に設立し、3市の分担金で運営されている組合です。現在、同組合では新たなごみ焼却施設と粗大ごみ処理施設の更新計画を進めています。計画では、敷地内の跡地利用なども含め、周辺地域と一体的な整備を行っていく予定です。ここでは、計画の概要をお知らせします。



▲現在の焼却炉。ごみを定量ずつ投入し、850度以上で燃やす「流動床式焼却炉」を採用しています



▶海老名・座間・綾瀬の3市のごみが次々と搬入されるごみピット。ピットには、3市から搬入されるごみの2.5日分を入れることができます

同組合では、3市から排出された燃やせるごみ(一般廃棄物)を、焼却施設(1日当たり処理能力150トン)昭和59年完成と、同200トン(平成4年完成)と粗大ごみ処理施設(同50トン(昭和49年完成))で処理しています。これらの施設は老朽化が著しく、更新が必要となっています。

更新計画では、新たに1日当たり245トンの処理能力を持つ焼却施設と、同14トンの粗大ごみ処理施設を建設する予定です。また、周辺環境整備では、環境保全にも配慮していきます。

焼却施設は、26年度中に事業者の選定を行い、設計・建設工事を経て、平成31年度の稼働開始を目指します。

なお、今回の更新計画は、施設の周辺に住む皆様のご理解とご協力をいただけたことから進めているものです。

6つの基本方針に基づいて環境を整備

現在の敷地には、ごみ焼却施設と粗大ごみ処理施設、平成26年4月更新のし尿処理施設があります。このほか、焼却処理の余熱を利用した屋内温水プールや、浴室を備えた老人福祉センターがあります。

焼却施設の建て替えに伴い、敷地内は「高座の杜」や「健康の杜」など、地域の憩い・交流の場となる空間整備を行います。また、周辺ではカワセミなどの野鳥が見られ、広い樹林地や目久尻川の自然

資源、大山道や養蚕の村としての風景を残す歴史・文化資源が豊富にあります。こうした環境を生かして、6つの基本方針(左表参照)に沿った整備を進めていきます。

公園整備で周辺地域を活性化

敷地外に整備する公園は、地域内外から多くの人が訪れる施設として整備を進めます。公園内は、多目的な利用ができる芝生広場の原っぱゾーンやわんぱくゾーン、水路や湿地などを生かした水辺のゾーン、四季折々の花が楽しめるガーデンゾーンなどを設置し、各



▲メインエントランス付近からの眺め

▲周辺環境整備のイメージ図。なお、これは現段階のものであり、今後変更する場合があります

▶市道からの眺め

6つの基本方針

- 1 多世代が憩い・ふれあい、一日楽しく過ごせる公園とします
- 2 現状の地形や樹林地などの植生を生かします
- 3 屋内温水プールの健康増進機能を生かして高めます
- 4 新ごみ処理施設などの環境教育機能を生かして高めます
- 5 敷地内跡地利用と空間の連続性を確保し、一体性を高めます
- 6 敷地内跡地利用と一体となった広域避難場所とします